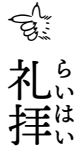


平等寺御寶號念誦次第

〔経頭〕金一打。勤行次第の頭を出す。

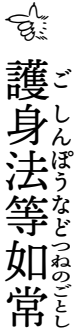
(朝勤行は礼拝から始める・夕勤行は開経偈より)



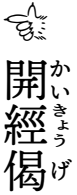
礼拝  
〔経頭〕金二打。〔諸衆〕本尊の御前に対して身を正して合掌し、左  
の腕に念珠を懸けて五体投地の禮を作すと三度。普札の真言に曰く、

うん はん ぱ ぢ び  
おん さ らば た た ぎや た  
はん な ま ん な のう ぎや ろ み  
ぱ ぢ び ぢ び ぢ び ぢ び

om sarvatathāgatapādāndanam karomi. オーム(聖語)、私はあらゆる御仏の御足に礼拝する。



護身法等如常



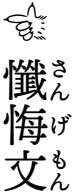
開経偈

一遍

無上甚深微妙法 百千萬劫難遭遇

我今見聞得受持 願解如來眞實義

この上なく、極めて深く、素晴らしい仏の教えは、宇宙全体が十億回ほど消滅と生成を繰り返しても  
(Kalpakotisāta) 出会うことが難しいという。私は今、人として生まれ、その教えを見て聞いて受けるも  
つ機会を得ることができた。ついでには仏が意図したとおりに意味を理解できることを願う。



懺悔文

一遍 実叉難陀訳『大方広仏華嚴経』「普賢行願品」偈

我昔所造諸惡業 皆由無始貪瞋癡

從身語意之所生 一切我今皆懺悔

私が遙かな昔より作ってきた悪い行いは、全ていつからはじまったのかも分からない「貪り・怒り・愚  
かさ」が原因となつて、「身体・言葉・意識」の中で生み出されてきた。私は今、その全てを懺悔する。

三歸依文 三遍

弟子某甲 盡未來際

歸依佛 歸依法 歸依僧

仏の弟子である私は、未来が終わる時まで、仏を信じ、仏の教えを信じ、仏の教えを實踐する出家者の集まり(サンガ)を信じてることを誓う。Skt. Buddhāṃ saraṇaṃ gacchāmi, Dharmāṃ saraṇaṃ gacchāmi, Saṅghaṃ saraṇaṃ gacchāmi.

三竟 三遍

弟子某甲 盡未來際

歸依佛竟 歸依法竟 歸依僧竟

仏の弟子である私は、未来が終わる時まで、仏を信じ、仏の教えを信じ、仏の教えを實踐する出家者の集まり(サンガ)を信じている。

十善戒 三遍 実叉難陀訳『大方広仏華嚴経』「十地品」

弟子某甲 盡未來際

不殺生 不偷盜 不邪淫

不妄語 不綺語 不惡口 不兩舌

不慳貪 不瞋恚 不邪見

仏の弟子である私は、未来が終わる時まで、故意に生きている者を傷つけず、与えられていない物を自分の物とせず、邪な男女関係を持たず、故意に嘘を言わず、余計なことも言わず、悪口も言わず、二枚舌も使わず、出し惜しみせず必要以上に欲しがらず、何があっても怒ること無く、因果応報の道理を信じない考えを持つことはないことを誓う。

五大願

一遍 宥快和会『十八道念誦頸次第』

衆生無邊誓願度 福智無邊誓願集

法門無邊誓願覺 如來無邊誓願事

菩提無上誓願證 自他法界同利益

生きとし生けるものの数は限りないが、私はそれら全てを迷いから救うと誓う。福徳と智慧は限りないが、私はそれら全てを集めると誓う。仏の教えは限りないが、私はそれら全てを学ぶと誓う。如来の数は限りないが、私はそれら全てにつかえることを誓う。菩提はこの上ないが、私はそれを悟ると誓う。(これによって) 自と他と世界全体とは、利益を同じくする。

發菩提心

三遍 善無畏訳『大毘盧遮那經広大儀軌』

おん ぼん びしゅ た ぼ だは だ や み

om bodhicitam utpādayāmi. オーム、私は菩提心を生起せしめる。

入佛三昧耶

三遍 善無畏・一行訳『大毘盧遮那成佛神變加持經』「入漫荼羅具緣眞言品」

のうま く さ ま だ ぼ だ なん

あ さん めい ちり さん めい さん ま えい そわ か

namah samantabuddhanam asame trisame samaye svāhā. 私はあらゆる仏たちに帰依する。等比するものが無く三平等であるところの三昧耶よ。スヴァーハー(聖語)。

三昧耶戒

三遍 金剛智訳『金剛頂瑜伽中略出念誦經』

おん さん ま や さとばん

om samayas tvam. オーム、あなた(金剛薩埵)は三昧耶(あらゆるものの苦を抜き樂を与えるという誓いを体現する者)である。



中論八不偈

一遍 龍樹造 青目釈 鳩摩羅什訳 『中論』 「觀因緣品」等

不生亦不滅	不斷亦不常
不一亦不異	不來亦不去
能說是因緣	漸滅諸戲論
我稽首禮佛	諸說中道義
因緣所生法	我說即是空
亦為是假名	亦是中道義

anirodham anutpādam anucchedam aśāsvatam/ anekārtham anānārtam anāgamam anirgamam/

yañ. pratyāsasnutpādañ. prapañcopasāmanñ. śivam/ deśayāmāsa sambuddhas tañ vande vadatāñ varam//

生ずることなく滅することなく、常ならず断ならず、一ならず異ならず、来ることなく去ることなし。よくこの因縁を説き、もろもろの戲論を滅し、諸々の中道の教えを説くブツダに我は礼拝する（※梵文訳…説者中の第一人者たるブツダに我は敬礼する）。

yañ. pratyāsasnutpādañ śūnyatāñ tañ pracakṣmahe/ sa prajñaptirupādāya pratipat satva madhyamā//

因縁によって生まれた事象、われわれはそれを「空」と呼ぶ。それは仮に設定した表示であり、それこそが中道である。



法身偈

一遍 「縁起法頌」

諸法從縁生	如來說是因
是法從縁滅	是大沙門說

ye dharmā hetuprabhavā hetuñ teṣāñ tathāgato hy avadat, teṣāñ ca yo nirrodha evaṇvādi mahāśramaṇaḥ

「もろもろの事象は縁によって生じる。如來はその因を説く。この事象はまた縁によって滅する」。これが大沙門（ブツダ）の教説である。

立義分

一遍 馬鳴菩薩造 眞諦譯『大乘起信論』「立義分」

立義分

摩訶衍者總說有二種云何爲二一者法二  
 者義所言法者謂衆生心是心則攝一切世  
 間法出世間法依於此心顯示摩訶衍義何  
 以故是心眞如相卽示摩訶衍體故是心生  
 滅因緣相能示摩訶衍自體相用故所言義  
 者則有三種云何爲三一者體大謂一切法  
 眞如平等不增減故二者相大謂如來藏具  
 足無量性功德故三者用大謂能生一切世  
 間出世間善因果故一切諸佛本所乘故一  
 切菩薩皆乘此法到如來地故  
 諸佛甚深廣大義 我今隨分總持說  
 迴此功德如法性 普利一切衆生界

(立義分の解説をそのうち書く)

般若心經

一遍 玄奘譯『般若波羅蜜多心經』

佛說摩訶般若波羅蜜多心經

觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五  
 蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不  
 異色色即是空空即是色受想行識亦復如  
 是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨  
 不增不減是故空中無色無受想行識無眼  
 耳鼻舌身意無色聲香味觸法無眼界乃至  
 無意識界無無明亦無無明盡乃至無老死  
 亦無老死盡無苦集滅道無智亦無得以無  
 所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心無  
 罣礙無罣礙故無有恐怖遠離一切顛倒夢  
 想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故  
 得阿耨多羅三藐三菩提故知般若波羅蜜  
 多是大神咒是大明咒是無上咒是無等等  
 咒能除一切苦真實不虛故說般若波羅蜜  
 多咒即說咒曰  
 揭諦 揭諦 波羅揭諦 波羅僧揭諦  
 菩提薩婆訶

大師御宝号及び真言

大師宝号 南無大師遍照金剛

百遍或は千遍

弥勒慈尊 おん まいたれいや そわか

二十一遍

如意輪尊 おん はんどめい しんだまに じんばら うん

七遍

薬師名號

経頭に從つて読誦。各七遍或は三遍

薬師名號 南無薬師瑠璃光如来

薬師大咒 のうぼう ばぎやばてい ばいせいじゃぐろ ばいちよりや

はらばあらんじやや たたぎやたや あらかてい さんみやく

さんぼだや たにやた おん ばいせいぜい ばいせいぜい

ばいせいじゃ さんぼりぎやてい そわか

薬師心咒 おん ころころ せんだりまとうぎ そわか

薬師小咒 おん ばいせいぜい ばいせいぜい ばいせいじゃ さんぼりぎや

てい そわか

本尊脇侍等 経頭に從つて読誦。各三遍。

日光菩薩 おん ろぼにめた そわか

月光菩薩 おん せんだらはらばや そわか

十二神將 おん くびら そわか

本尊界會 南無本尊界會

諸眞言

経頭に從つて読誦。各二遍。

兩部界會 南無兩部界會

金剛界大日 おん ばざらだと ぼん

阿闍如來 おん あましゅびや うん

寶生如來 おん あらたんのう さんばんば たらく

觀自在王 おん ろけいじんばら あらんじゃ きりく

不空成就 おん あぼきや しつでい あく

胎藏大日 のうまく さんまんだぼだなん あびらうんけん

寶幢如來 のうまく さんまんだぼだなん らんらく そわか

開敷華王 のうまく さんまんだぼだなん ばんばく そわか

無量壽佛 のうまく さんまんだぼだなん さんさく そわか

天鼓雷音 のうまく さんまんだぼだなん かんかく そわか

普賢菩薩 (二切支分生) のうまく さんまんだぼだなん あんあく そわか

觀自在 (世尊陀羅尼) のうまく さんまんだぼだなん ぼだだらんぢ さもりち

ばらだのうきやり だらやさらばむ ばきやばちあきやらばち

さんまえい そわか

のうまく さんまんだぼだなん あべいだびでい そわか

彌勒菩薩 (法住) のうまく さんまんだぼだなん まかゆぎや ゆぎに ゆけい

じんばら けんじやりけい そわか

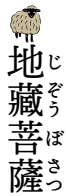
般若菩薩 おん ぢしり しゅろた びじゃえい そわか

金剛界五佛

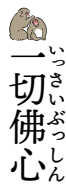
胎藏五佛

胎藏四菩薩

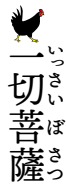




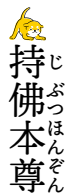
地藏菩薩 おん かかか びさんまえい そわか



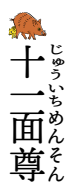
一切佛心 のうまく さんまんだぼだなん あん さらばぼだ ぼうじ  
さとば きりだやにやべいしやに のうまく さらば びでい  
そわか



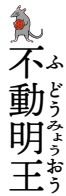
一切菩薩 のうまく さんまんだぼだなん きゃ さらばた びまち  
びきらんだ たらまだと にりじやた さんさん か そわか



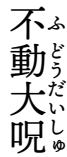
持佛本尊 おん まかきやろにきや そわか



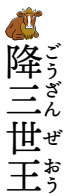
十一面尊 おん ろけいじんばら きりく



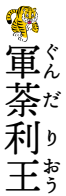
不動明王 のうまく さんまんだ ばざらだん せんだ まかろしやだ  
そわたや うんたらた かんまん



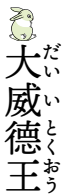
不動大呪 のうまく さらば たたぎやてい びやく さらば ぼっけ  
い びやく さらば たたらた せんだ まかろしやだ けん  
ぎゃき ぎゃき さらば びきなん うんたらた かんまん



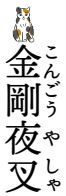
降三世王 おん そんばにそんば うん ばざら うんぽった



軍荼利王 おん あみりてい うんぽった



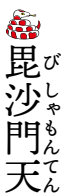
大威徳王 おん しゅちり きやらろは うん けん そわか



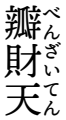
金剛夜叉 おん ばざらやきしや うん



愛染明王 おん まからぎや ばざろしゆにしや ばざら さとば じやく  
うん ばん こく



毘沙門天 おん べいしらまんだや そわか



辨財天 おん そらそば ていえい そわか

五大明王

大黒天 だいこくてん  
おん まかきやらや そわか

大金剛輪 だいこんじょうりん  
のうまく しつちりやぢびきやなん たたぎやたなん あん  
びらじ びらじ まきしやきやら ばじり さた さた さら  
てい さらてい たらい たらい びだまに さんばんじゃに  
たらまち した ぎりや たらん そわか

一字金輪 いちじきんりん  
のうまく さんまんだぼだなん ぼろん

佛眼佛母 ぶつげんぶつも  
のうぼう ばぎやばとうしゆにしゃ おん ろろ そぼろ  
じんばら ちしめた した ろしやにさらばらた さだにえい  
そわか

釋迦牟尼 しゃかむに  
南無釋迦牟尼善逝 なむしゃかむにぜんぜい

八大高祖 はちだいこうそ  
南無八大高祖 なむはちだいこうそ

賓頭盧尊 びんずるそん  
南無賓頭盧尊者 なむびんずるそんじや

諸阿羅漢 しよあらかん  
南無諸大阿羅漢 なむしよだいあらかん

金剛力士 こんごうりきし  
南無金剛力士 なむこんごうりきし

光明眞言 こうみょうしんごん  
おん あぼきや べいろしやのう まかぼだら まに はんどま  
じんばら はらばりたや うん

大師寶號 だいしほうごう  
南無大師遍照金剛 なむだいしへんじょうこんごう

鎮守寶號 ちんじゅほうごう  
南無當山鎮守 なむとうざんちんじゅ

 牛頭天王 南無祇園牛頭天王

 自在天神 南無天滿大自在天神

 稻荷明神 南無冠稻荷大明神

 轟大明神 南無轟大明神

 愛宕權現 南無愛宕大權現

 善女龍王 南無清瀧大權現

 金毘羅神 南無金毘羅大權現

 護法善神 南無萬山護法善神


 世出世神 おん ろさやろさや さやらや そわか

 先師尊靈 南無當山代々先師尊靈

 各家尊靈 南無當山檀越先祖代々尊靈

 過去精靈 南無過去精靈


 三界萬靈 南無三界萬靈

 廻向文 『法華経』「化城喻品」偈

願がんに以此に功德くどく 普ふ及ぎゅう於お一切いっさい

我等がとう與よ衆生しゆじょう 皆かい共ぐ成じょう佛道ぶつどう

願ねがわくば此この功德くどくを以もつて普あまねく一切いっさいに及およぼし我等われらと衆生しゆじょうと皆みなとも共にぶつどうに佛道じょうを成じょうぜん

 護身法等如常 (僧分のみ)

三歸禮

実叉難陀訳『大方広仏華嚴経』「浄行品」。(経頭) 金一打し発音。  
〔諸衆〕一同、三歸禮文を唱和しながら五体投地すること三度。

自歸依佛

當願衆生

體解大道

發無上意

自歸依法

當願衆生

深入經藏

智慧如海

自歸依僧

當願衆生

統理大衆

一切無礙

退堂